

消火の現場が、スプリネックスの威力を実証する。

作動のスピード、消火後の素早い復旧が消火事例により証明されています。



平成6年3月、北海道A病院の病棟廊下に放置してあった車椅子の毛布から出火、火は一瞬のうちに天井近くまで達したが、すぐに感知器が作動し、スプリネックス本体が作動、瞬時に消火しました。原因はタバコの不始末、被害は車椅子1台と壁及び廊下が多少濡れた程度で、あと数分消火が遅れたら壁から天井へと延焼し、煙の充満で大混乱となることでした。当日、入院患者さんも動揺することなく、業務も支障なく平常通り行われました。

●病院関係者の話
一瞬のうちに消火したのは驚いた。周囲に延焼する前に消し止めたこと、薬剤の後始末にウエスやモップで拭き取る程度で後かたづけにも時間が掛からず、業務に支障なかった。大事に至らず本当に良かった。

平成8年9月、千葉県B病院事務所内のカルテ整理棚から出火、当日は病院が休みで火災報知器に気がついた当直の医院長が駆けつけたときには、既にスプリネックスが作動し、火は完全に鎮火していました。原因は放火によるものとみられていますが、感知が早く、素早く消火したため損害はカルテ整理棚及びカルテの一部焼失とコンピューターに薬剤がかかっただけで軽微ですみました。又、水損も少なく後始末も簡単に済み翌朝からの業務も平常通り行われました。

●病院関係者の話
病院はカルテが財産で、これを失うことは病院が倒産するに等しく、もしスプリンクラーを設置していたら、焼失を免れたとしても水損で甚大な被害を被ったことが想像でき、スプリネックスを設置したことは正解であったと思う。

昭和63年に設置開始以降、平成6年から現在に到るまでに19件の出火に依る作動事例が報告されていますが、全てに於いて消火を致しております。早期に消火する事により人的被害はゼロです。建物に対する損傷も軽微にとどまっております。

ますます多用途に展開が拡大。

右記のような設置実績を誇る「スプリネックス」は、スプリンクラー設備を設置しなければならない防火対象物に対し「総務省令第92号及び消防庁告示13号」を適用して設置するケースがさらに増加。これまで設置実績は、社会福祉施設、旅館、ホテル、ペンションから、スーパー、各種学校、研修所、図書館、飲食店、多用途テナントビル、さらに神社や文化財まで幅広く、今後はさらに多用途の展開が見込めます。

スプリネックス設置実績

設置年月	病院	社会福祉施設	ストア	共同住宅	一般	合計
H29.3.迄	917	1,183	115	902	161	3,278件

〈オプション〉
未警戒部分用の消火設備
スーパーボックス
パッケージ型消火設備I型 SBW80II型 第三種浸潤剤等入り80L

●補助散水栓設備の代わりに威力を発揮!
性能規定の導入による告示化により、パッケージ型自動消火設備I型「スプリネックス」を設置する防火対象のなかに、補助散水栓設備に代わる設備としてパッケージ型消火設備の設置が認められました。

●屋内消火栓設備の代わりに使用可能!
右表の通り、新たに屋内消火設備に代わる設備としてパッケージ型消火設備の設置が認められました。

パッケージ型消火設備I型の設置基準

防火対象物	耐火建築物	耐火建築物以外
6階以下で延べ面積3,000㎡以下	6階以下で延べ面積3,000㎡以下	3階以下で延べ面積2,000㎡以下
水平距離	20m以下	20m以下
防護面積(階ごと)	850㎡以下	850㎡以下
ホース長さ	25.5m	25.5m

標準小売価格 ※補助散水栓設備の代替として使用する場合は別途
●標準型
露出型650,000円(税抜)
埋込型680,000円(税抜)
※上記価格にはいずれも取付・工事費は含まれていません。
認定合格品(PG-029号)

※掲載商品は予告なく仕様、その他を変更する場合がありますので、ご了承ください。 ※設置につきましては、各所轄消防にお問合せください。

人と地球のいのちを守る
MORITA
モリタ宮田工業株式会社

本社：〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル8階
<http://www.moritamiyata.com>

お問い合わせは、お客様相談室へ
☎ 0467-85-1210 受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00 (土・日・祝祭日は休み)

ご用命は

パッケージ型自動消火設備I型【緩和型】

スプリネックス

FSSM500V型認定合格品(認定番号PGA-006号)

1,000㎡未満の施設に1台で対応



モリタ宮田工業株式会社

人と建物に配慮した 消火薬剤がもたらす 安全で効率的な消火の可能性

スプリンクラー設備と同等以上の防火安全性能を、建物や人に負担をかけずに実現。
薬剤をコンパクトにパッケージしたシステムだから、導入しやすくメンテナンスが簡単。
万一の際も被害の拡大を防ぐ、新たな消火システムの誕生です。

スプリネックスの3つの特長

だからスプリネックス 1 放射による二次災害が少なく安心。

大量の水を使うのではなく、わずか216リットルの少量で無害の消火薬剤を使用するので、放射により室内が水びたしになる二次災害の心配が少なく安心です。

だからスプリネックス 2 省スペース。

大規模な消火用貯水槽を設置する必要がなく、配管径も34mmとスリム。
施設の状況に左右されない省スペースを実現します。

だからスプリネックス 3 設置工事・維持管理が簡単。

大掛かりな設置工事の必要がなく、天井点検口があれば1部屋約2時間で設置可能。
維持管理も基本的にはワンタッチです。



FSSM500IV型
受信盤別置型

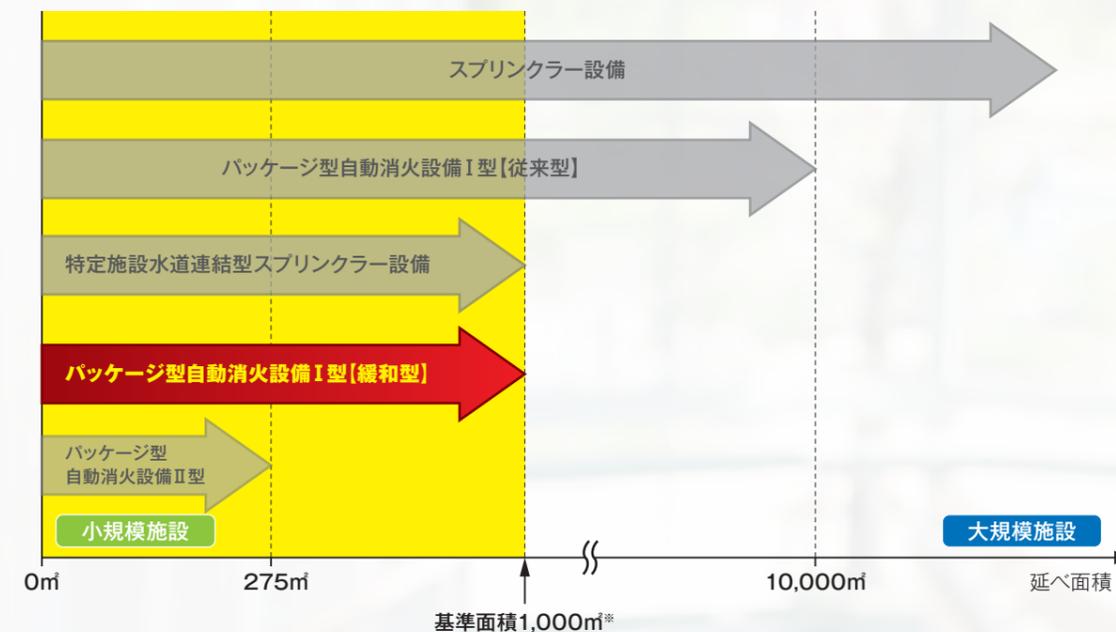


FSSM500IV型
受信盤一体型

スプリンクラー設備や自動消火設備の種類

スプリンクラー設備や自動消火設備については、
面積に応じて設置できるものが規定されています。

■設置面積イメージ



（基準面積：延べ面積から総務省令で定める部分の面積を除いた面積）
※平成27年3月1日より、「延べ面積」から「基準面積」に改正

スプリネックスは基準面積1,000㎡未満の防火対象物※において、
本体ユニット1台のみでも、スプリンクラー設備や、特定施設水道連結型スプリンクラー設備
の代替としての設置ができるよう、設置条件が緩和されました。

（平成28年1月29日付け 消防庁告示第3号）

※適用される防火対象物（消防法施行令別表第一、六項イ(1)、(2)、ロ(1)～(5)）

スプリンクラー設備の設置を必要とする病院、有床診療所、社会福祉施設、盲聾学校、
養護学校など

※建物は新築・増改築・既設を問いません。

（平成16年5月31日付け 総務省令第92号及び消防庁告示第13号）

スプリンクラー設備と同等以上の 防火安全性能を生む、高性能消火ユニット。

スプリンクラー設備が必要とされる施設において、スプリンクラー設備と比べた防火安全性能が、同等以上の効果を発揮する「スプリネックス」。
新たな発想の消火ユニットにより生まれた高性能のパッケージ型自動消火設備です。
365日24時間、初期消火をより安全に行う高機能パッケージが、
万一の際に皆さまを守ります。

スプリネックスと特定施設水道連結型スプリンクラーの特徴の比較

消火性能の高さ

スプリネックス 水の4倍の消火性能で、優れた非再燃性!
※第三種浸潤剤等入り水使用。

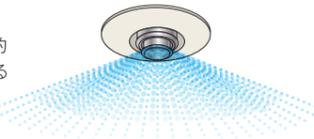
消火薬剤は、鑑定基準に適合し消火性能は水の4倍。冷却効果・浸透性・再燃防止効果にも優れ、スプリンクラーに代わる同等以上の消火性能を条件とする厳しい鑑定試験に合格しています。



特定施設水道連結型スプリンクラー

大量の水で消火。

大量の水で抑制。放水時間は約20分。600L以上の水を放水するため、水損被害が大きくなります。



感知スピードの速さ

スプリネックス 感知・消火のスピードが速い!

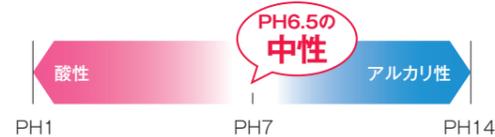
自動火災報知設備用感知器の使用で火災の感知スピードが速く、火災場所で1系統の放出口が一斉に消火薬剤を放射。初期火災の間に消火を行います。



消火薬剤の安全性

スプリネックス 消火薬剤はPH6.5の中性で刺激が極めて少なく安心!

消火薬剤が皮膚にかかったり目に入っても刺激や影響が極めて少ない中性薬剤を使用しています。消火薬剤の経年変化も極めて安定しています。



特定施設水道連結型スプリンクラー

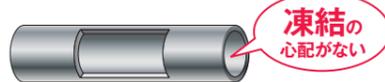
消火は水で行うため無害。

ただし配管内での経年変化により赤サビや腐敗が生じます*。*湿式の場合

設置条件の柔軟性

スプリネックス 地震に強く、凍結の心配がない!

消火薬剤は本体に貯蔵され配管部分は常に空の状態なので、腐食や地震による液漏れ・凍結の心配がありません。



特定施設水道連結型スプリンクラー 水道・外部電源を利用しているため、断水・停電・凍結(*)の際は作動しない。



※湿式の場合

作動の信頼性・正確性

スプリネックス 誤放射の発生率は低い!

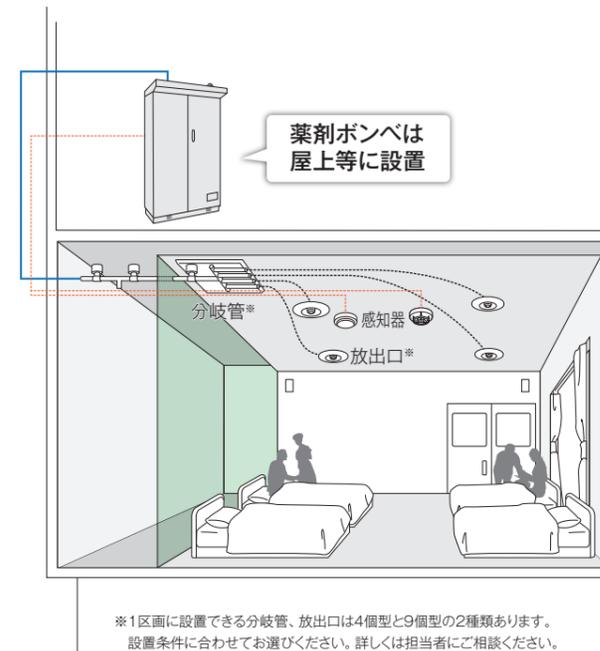
感知方式の異なる2つの感知器両方が火災を感知して初めて本体が作動するシステムなので、誤放射の発生率が極めて低くなります。感知器の一方が感知した際にはブザー、移報信号で火災発生を知らせます。



特定施設水道連結型スプリンクラー

誤放射の発生率は低い。

ヘッドの感熱部分を火災の熱が溶かすまで時間がかかり、火災感知の鈍さがある一方、誤放射の発生率は低くなります。



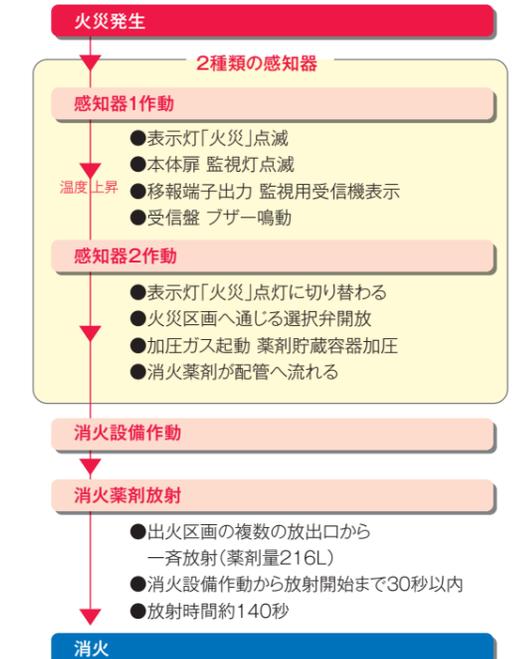
*1区画に設置できる分岐管、放出口は4個型と9個型の2種類あります。設置条件に合わせてお選びください。詳しくは担当者にご相談ください。

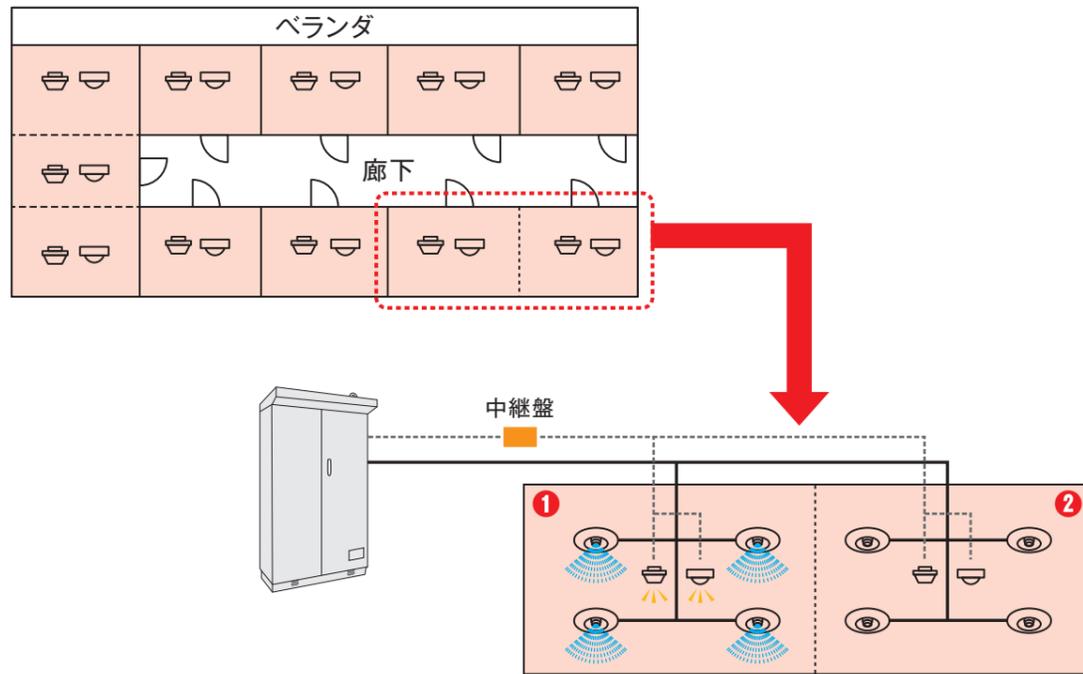
スプリネックス消火システム

1. スプリネックスは、1台で21㎡の防護範囲を消火し、50回線の受信盤では最大1,050㎡を警戒出来ます。
2. 感知方式の異なる2種類の感知器の一方が火災を感知するとブザーで火災を知らせ、もう一方の感知器が作動して初めて、火災発生現場の系統が作動し、選択弁が開き、1系統の放出口から216Lの消火薬剤を放射して確実に消火し、再燃を防ぎます。
3. メイン配管は消火薬剤容器から最遠端の防護区域まで、90m以内となっております。



スプリネックスの作動フロー図

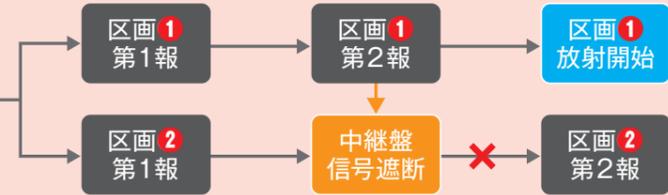




感知・消火フロー



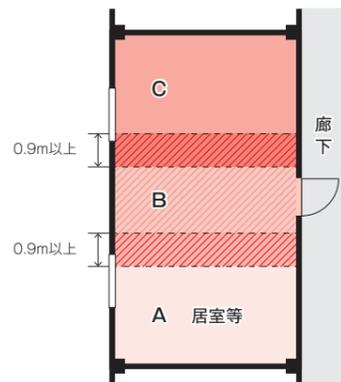
火災発生



1,000㎡未満の施設については、避難時間が短いこと等を考慮し、**改正前基準を緩和し、隣接する居室等であっても1つのユニットで対応可(=同一ユニットの共有可)とする。**

また、その際、広い居室に設置した場合でも、火災が発生した部分に有効に消火剤が放射できるよう、**火災の発生場所以外の放出口からは消火剤が放射されないように措置**することを求める。

(措置例)中継盤等により、区画①から消火剤が放射されたときは区画②からは放射されないようにする。



隣接する同時放射区域の設置方法

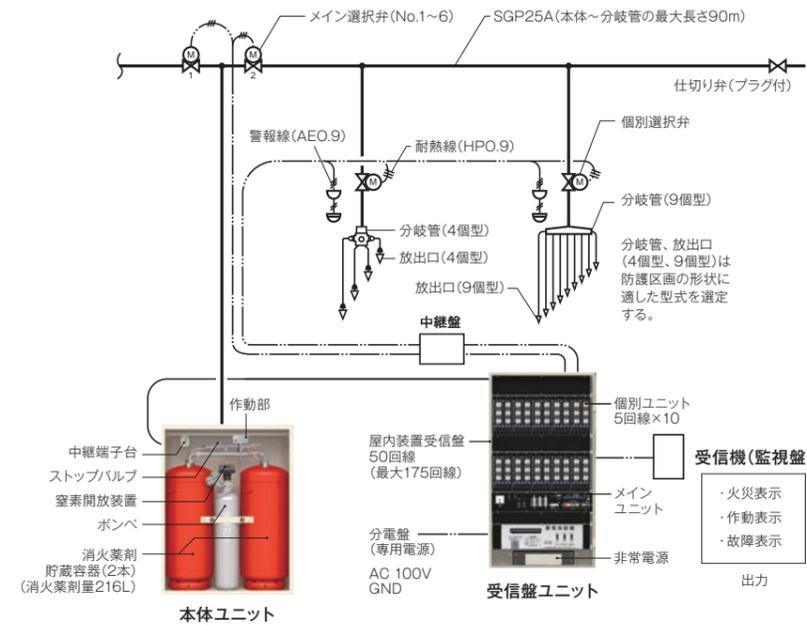
凡例

- 同時放射区域 A
- 同時放射区域 B
- 同時放射区域 C

隣接する同時放射区域間で設備を共用する場合におけるそれぞれの同時放射区域は、隣接する同時放射区域と壁、床、天井、戸等で区画されている場合を除き、境界部分を0.9m以上重複させて設定すること。

代表例

●FSSM500IV型受信盤別置型

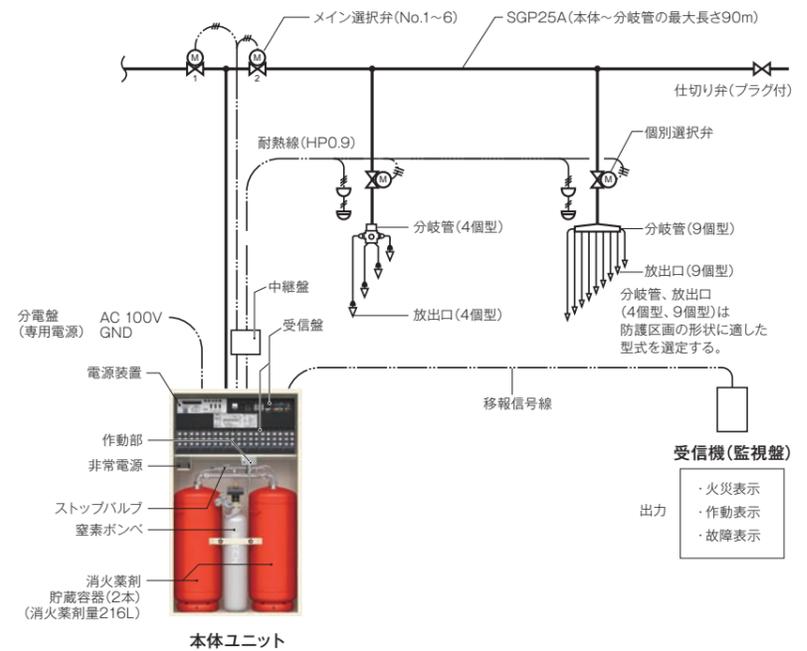


FSSM500IV型受信盤別置型				
	幅 mm	奥行 mm	高さ mm	総質量(架台)kg
受信盤	50回線	550	211	51
	125回線	550	211	85(3.5)
	175回線	1,065	211	115(6)
本体	屋内型	1,050	450	480
	屋外型	1,087	560	540

※50回線の架台(14kg)はオプション

- 受信盤は50回線、125回線、175回線の3種類があります。
- 受信盤は屋内仕様ですが薬剤容器内蔵本体は屋外仕様も有ります。
- 本体高さが低いので階段下等に設置し易くなりました。

●FSSM500IV型受信盤一体型



FSSM500IV型受信盤一体型				
	幅 mm	奥行 mm	高さ mm	総質量 kg
屋内型	1,050	450	1,800	540
屋外型	1,087	560	1,910	610

- 屋内型と屋外型があります。
- 本体には最大50回線の受信盤と薬剤貯蔵容器が内蔵されています。



認定番号	PGA-006号
種別	パッケージ型自動消火設備Ⅰ型
防護面積	21㎡(1系統当り)
消火種別	第三種浸潤剤等入り水(品評第27~1号)
薬剤対応品番	WP
薬剤容量	216L
使用温度範囲	0℃~+40℃
放射時間	約140秒
接続 放出口4個	φ12mm(最長6m)
銅管 放出口9個	φ10mm(最長8m)
感知器 (AND回路)	定温式スポット型感知器 差動式スポット型感知器
格納箱 屋内型(mm)	H1,350×W1,050×D450
サイズ 屋外型(mm)	H1,454×W1,087×D560
総質量 屋内型	約480kg
屋外型	約540kg
受信盤ユニット	50・125・175系統
電源	AC100V 2A(非常電源内蔵)
特長	受注



認定番号	PGA-006号
種別	パッケージ型自動消火設備Ⅰ型
防護面積	21㎡(1系統当り)
消火種別	第三種浸潤剤等入り水(品評第27~1号)
薬剤対応品番	WP
薬剤容量	216L
使用温度範囲	0℃~+40℃
放射時間	約140秒
接続 放出口4個	φ12mm(最長6m)
銅管 放出口9個	φ10mm(最長8m)
感知器 (AND回路)	定温式スポット型感知器 差動式スポット型感知器
格納箱 屋内型(mm)	H1,800×W1,050×D450
サイズ 屋外型(mm)	H1,910×W1,087×D560
総質量 屋内型	約540kg
屋外型	約610kg
受信盤ユニット	50系統付
電源	AC100V 2A(非常電源内蔵)
特長	受注